中央区文化･国際交流振興協会だより

Chuo Cultural And International Exchange Association



「米屋・酒屋」（1989 年）小川幸治

● 特集 ●

日本舞踊の魅力について考える

中央区古典芸能の会　花柳　典幸

- 平成 23 年度の事業計画と予算
- 中央区　ひと　粋・活き　　NPO 法人築地居留地研究会
- 中央区まるごとミュージアム

No.55 July 2011

中央区文化･国際交流振興協会発行

日本舞踊の魅力について考える

中央区古典芸能の会
花柳　典幸



平成 22 年度古典芸能鑑賞会　舞踊　常磐津「釣女」

日本舞踊はむずかしいか？！

昨年（平成 22 年）、わたしは中央区古典芸能鑑賞会の舞台で常磐津『釣女』の大名を踊らせていただきました。そのご縁からか、今回は「日本舞踊の魅力について」なにか書きなさい、と思いがけない難題です。

日本舞踊家としては駆け出しの身ですから、芸談めいたことを語れるほどの伎倆も経験もありません。どれほどのことを書けるかわかりませんが、ともかくも落ち穂でも拾うようにして書いてみることにしましょう。

ところで、わたしは大学で日本舞踊を教えています。はじめて講義を受ける学生たちに聞いてみると、たいてい「日本舞踊はむずかしそうだ」という答えが返ってきます。芸術専攻の学生ですらこんな風ですから、一般の学生たちにいたっては、ほとんどが「日本舞踊はむずかしそうだ」と答えるにちがいありません。

なぜ「日本舞踊はむずかしいか」を考えてみると、その答えはわが家で見つけることができそうです。

といいますのは、わが家は三代つづく日本舞踊家で、祖父の二世花柳壽楽は大正 7 年（1918）生まれ。父の二世花柳錦之輔は昭和 16 年（1941）生まれで、わたしは昭和 44 年（1969）生まれです。

たとえば祖父の時代は、道を歩いているとどこからともなく三味線を弾く音が聞こえてきたそうです。邦楽は年齢を問わず、ごく身近な音楽だったことがわかります。また父からは戦後間もないころまで、日常着として和服が着られていたと聞いています。当然、ゲタも草履もふだんの履き物でした。

ところが、わたしの代になってみると、日常はもちろん学校でも邦楽を聞くことがありません。さらに、踊りに使われる長唄や清元などの歌詞（詞章）は、多くは江戸時代のもので独特のシャレやヒネリがきいていて難解です。また、着物は一部をのぞいて、冠婚葬祭などの特別な日に着るものになり、着付けもわざわざ学ぶものになったことはどなたもご存じの通りです。こうして祖父から父、わたしと、わずか 100 年に満たない時間のあいだに生活様式は大きく変化し、同時に日本舞踊をとりまく環境も大きく変わって、「日本舞踊はむずかしい」と考えられるようになったのだと思います。

日本舞踊を楽しもう！

ところで、当代屈指の舞踊の名手といわれる坂東三津五郎さんが、そのご本のなかで
「踊りを観るのは、理屈ではありません。
「ああいいね。やはりいいね」
でいいわけです」と書かれています。

とはいえ、いまは「食わず嫌いの時代」。とっつきにくくて、むずかしそうに見えるものはなにかと敬遠されがちです。しかし逆転の発想で、知れば知るほど興味深く、楽しむことができるのが日本舞踊の魅力だと、積極的に考えてみたらどうでしょう。最近はちまたで「江戸検定」も流行の気配です。日本舞踊通になるのもきっと楽しみのひとつになると思います。

というわけで、分かりやすく親しみやすい作品から日本舞踊入門をはじめてみてはどうでしょう。

日本舞踊には、パッと華やかで、どなたにも分かりやすく、こころが浮き立つような作品がいくつもあり、たとえば『藤娘』『汐汲』『やぐらのお七』『連獅子』『供奴』『越後獅子』などが即座に思い浮かびます。〔言うまでもないことですが、ここに挙げた作品は、踊るのがやさしいということではありません〕。

これらの演目は日本橋劇場や国立劇場などで開催されている、おさらい会や発表会にいらっしゃればたいていご覧になれる一種の定番です。また、「中央区古典芸能鑑賞会」のような催しをご覧になるのもおすすめです。一回より二回、二回より三回と回をかさね、ちがう演目もご覧になってゆくと、いつしか日本舞踊が深い情感や悲しみ、あるいは一転してユーモアにあ

ふれていることなどを感じていただけると思います。

「見て」もおもしろいけど、「踊る」とさらに楽しいのが日本舞踊。その世界をすこしでも体験していただこうと、昨年は親子や一般の方向けの「中央区古典芸能ワークショップ」もやらせていただきました。扇の使い方や手・足の表現方法など、ごくごくサワリの部分だけでしたが、意外におもしろかった、日本舞踊って楽しそうという感想をいただいたのは、わたしにとってもうれしい経験でした。





平成 22 年度文化講座～古典芸能の楽しみ
～親子で楽しむワークショップ「古典芸能ってなあに？」

わが身のことを棚に上げて

いまは、日本舞踊にかぎらずどんな習い事も、「誉めて育てる」のが基本です。叱ったりすると、すぐにお稽古に行きたくないとヤメラレてしまいます。しかし、祖父の時代は「叱って育てる」ことが当然でした。ですから、わたしは祖父から常に叱られ、誉められたことは一度もありませんでした。

そんなわたしですが、祖父からどんなことを注意され、どんなことを気をつけながら踊っているかを知っていただくのもご参考になるかもしれません。

日本舞踊の基本は、もちろん腰と足にあります。やや腰を落として重心は低く、スリ足で動くというのが基本中の基本です。でも最初にきびしく教えられたのは、稽古の最初と最後にきちんと師匠におじぎして挨拶することでした。これぱかりは幼時から徹底的に仕込まれ、教えるときにも注意しています。

そのうちに言われたのは、「まとまるな、暴れるな」ということでした。たとえば祖父の踊りを見ていると、扇をホンのわずか動かすだけで大きな世界を描くことができます。ところが、わたしが同じようにしても単なるマネでしかなく、無残な結果にしかなりません。「若いときは若さを出せ、うまそうに見せようとジジむさく踊るんじゃないよ」とこっぴどく叱られました。

逆にちょっとテングになったりして、踊りにケレン味やアザトさが出ることも厳しく直されました。稽古で教えられたことをしっかり守って、足を曲げるところはきちんと曲げる、手を伸ばすところはていねいに伸ばす。「舞台で暴れるな、行儀よく踊りなさい」という祖父のことばは金言だと思っています。

自分でも踊りを振り付けるようになって実感したのは「ツナギ目」の大切さです。

日本舞踊は、ひとつの演目がふつう四つのパート（出～クドキ～手踊り～段切れ）にわかれています。そして、そこで大事なのはツナギ目である「～」の部分。映画の手法でいえば、フェイド･インなのか、ズーム･インにするのかなどは大きな問題です。自分で踊っていても同じことで、「～」の部分がきちんと埋まっているかどうかは重要で、初心のうちは「～」のところで、フッと素の自分になってしまいがちです。

「いいと、うまいは、いいが上」ということばがあります。うまい踊りも良いけれど、いい踊りはさらに良いね、ということだそうですが、うまい踊りへの道は遠く、いい踊りへの道ははるか彼方というのが実感。それでも、目に残る踊り、こころに響く踊りをめざして、お客さまに日本舞踊の魅力をおつたえできたらと願っています。



祖父は人間国宝の花柳壽楽、父は二代目花柳錦之輔。幼少のころから祖父と父に日本舞踊を教わり、長じて花柳流の三代目宗家家元・四世宗家家元である花柳寿輔師にも師事。
初舞台は 4 歳のときの『菊づくし』。18 歳のとき「花柳典幸」の名を許され、以後さまざまな舞台で踊るほか、振付・指導に 取り組んでいる。
文化庁芸術祭新人賞・松尾芸能賞新人賞などを受賞。
中央区古典芸能の会 委員・玉川大学芸術学部、国立劇場養成課で講師を務める。



平成 22 年度古典芸能鑑賞会　舞踊　常磐津「釣女」

平成 23 年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。
事業内容の詳細が決定していない事業については、決まり次第協会のホームページや区のお知らせに掲載いたします。

平成 23 年度事業計画

文化振興事業

1　機関誌発行・ホームページの更新

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行するとともに、ホームページを更新し、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせします。

情報誌

部　　数：5,500 部　A4 版
発行回数：年 2 回発行（7 月－ 55 号　12 月－ 56 号）

ホームページ

ＵＲＬ：http://www.chuo-ci.jp/

2　芸術・文化の普及

（1）コンサート　～区民に親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供します～

日　時：平成 23 年 10 月 7 日（金）午後 6 時 40 分開演
場　所：日本橋公会堂「日本橋劇場」
内　容：ブルースカイカルテット with MERI& 五十鈴ココ
参加費：1,500 円
定　員：440 名
詳　細：追ってお知らせします。



平成 22 年度コンサート

（2）文化講座

中央区に関係のある各種文化、歴史等について専門家の講話を聞きその理解を深める機会です。2 種類の講座を昼と夜の 2 回開催します。

『クラシックはじめの一歩　～オペラとクァルテット～』
①「メゾ・ソプラノで辿るオペラの楽しみ」
日　時：平成 23 年 9 月 28 日（水）
　　昼の回　午後 2 時～ 3 時 30 分
　　夜の回　午後 7 時～ 8 時 30 分
講　師：メゾ・ソプラノ歌手　牧野真由美　ほか
②「かんたん？むずかしい？クァルテットを知ろう！」
日　時：平成 23 年 10 月 17 日 (月)
　　昼の回　午後 2 時～ 3 時 30 分
　　夜の回　午後 7 時～ 8 時 30 分
講　師：古典四重奏団
場　所：①・②とも月島社会教育会館　4 階　ホール
定　員：各回 100 名

（3）特別文化講演会　～各展覧会にあわせ、ＮＨＫとの共催で開催（年 3 回程度）します～

なお、講演会参加者には展覧会の招待券を、お一人様一枚差し上げます。

①古代ギリシャ展
日　時：平成 23 年 8 月 1 日（月）午後 6 時 30 分開演
場　所：月島教育会館ホール　4 階　ホール
講　師：国立西洋美術館　研究補佐員本展担当者　飯塚　隆
参加費：無料
定　員：230 名



平成 22 年度特別文化講演会

（4）古典芸能鑑賞会　～中央区に深い関わりをもつ舞踊、浄瑠璃などの古典芸能を鑑賞する機会です～

中央区を中心に活躍されている古典芸能実演家を構成員とする「中央区古典芸能の会」に企画・制作をお願いしています。

日　時：平成 23 年 6 月 18 日（土）午後 5 時開演
場　所：日本橋公会堂「日本橋劇場」
内　容：新内、江戸糸あやつり人形、落語、舞踊・長唄
参加費：2,000 円（中学生以下は 1,000 円）
定　員：440 名



平成 22 年度古典芸能鑑賞会

（5）文化推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となって行う文化振興事業の後援及び事業実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：15 件
助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

（6）中央区まるごとミュージアムの開催

区民や区外参加者の方々が区内をバスや船で回遊しながら、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を楽しみ享受できる文化イベント（第 4 回）を中央区との共催で開催します。

開催日：平成 23 年 10 月 30 日（日）
詳　細：8 頁参照

（7）文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言を受け、区民（企業、NPO 等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成 20 年度に文化の専門家からなるプロデュースチームを設置しました。今後も、具体的な文化事業の企画・立案、文化ボランティアの育成等について検討を進めます。
構成員：6 名

国際交流振興事業

（1）国際交流のつどい

外国人と日本人との文化交流の促進と相互理解を深めるため、年に 1 度開催しています。
日　時：平成 23 年 11 月 26 日（土）正午～午後 4 時
場　所：月島社会教育会館

INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY

This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents.
Date & Time: Sat, November 26, 2011　12:00~16:00
Place: Tsukishima Social Education Center
Fee: Free



平成 22 年度国際交流のつどい

（2）ボランティア活動支援

協会登録ボランティアの活動を支援するため、講習会の開催や連絡会議などを開催します。
・ボランティアの種類（①、②は原則としてそれぞれの事業で対応）
①日本語ボランティア
②国際交流サロンボランティア
③通訳・翻訳ボランティア
④イベントスタッフボランティア
⑤防災語学ボランティア
⑥ホームステイ・ホームビジットボランティア
講習会：年 2 回

（3）姉妹都市親善写真展

姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との交流・親善を一層深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を相互に交換し、親善写真展を開催します。
日　時：平成 24 年 2 月予定
場　所：3 箇所で展示（区役所 1 階ロビー、日本橋特別出張所 1 階ロビー、月島特別出張所 1 階コミュニティフロア）

（4）日本語教室

日本語でコミュニケーションをとることが困難な区内在住・在勤・在学の外国人を支援するため、日本語教室を開設しています。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティア主催による教室の支援も行っています。
［協会主催の日本語教室］

教室	水曜日教室	木曜日教室	土曜日教室
日時	第 1、第 2、第 3 水曜日	第 1、第 2、第 3 木曜日	第 2、第 3、第 4 土曜日
時間	午後 6 時 30 分～8 時	午前 10 時～11 時 45 分	午前 10 時～12 時
場所	女性センター（ブーケ 21）	協会講習室	協会講習室

［協会が支援する日本語教室］

教室	日本語おたすけたい	つきしまにほんごクラブ	にほんご生活
日時	月曜日（月3回）	毎週火曜日	毎週土曜日
時間	午後 7 時～8 時 30 分	午前 10 時～12 時	午後 2 時～3 時 30 分
場所	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館	新富区民館または協会講習室

JAPANESE LANGUAGE CLASSES

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers in order to meet various demands of increasing students.


日本語教室

I Japanese Classes that we host:

Class	Wednesday Class	Thursday Class	Saturday Class
Schedule	Every 1st, 2nd & 3rd Wednesday	Every 1st, 2nd & 3rd Thursday	Every 2nd, 3rd & 4th Saturday
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~12:00
Place	Chuo-ku Women's Center "Bouquet 21", 4th fl. Work room, (1-1-1 Minato, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Fee	Fee About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for textbooks)		

II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	Nihongo Otasuketai	Tsukishima Nihongo Club	Nihongo Seikatsu
Schedule	Monday (3 times per month)	Every Tuesday	Every Saturday
Time	19:00~20:30	10:00~12:00	14:00~15:30

Place	Nihonbashi Social Education Center, (Nihonbashi Elementary School Complex Facility 7th-9thfl.,1-1-17Nihonbashi-ningyocho Chuo-ku, Tokyo)	Tsukishima Social Education Center, (Tsukishima Community Center 4th and 5th fl., 4-1-1 Tsukishima, Chuo-ku, Tokyo)	Shintomi Community Hall or CCIEA lecture room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Fee	Fees differ depending on the class.		

（5）国際交流サロン

外国人と日本人が気軽に交流が出来る場を提供します。ボランティアによる企画・運営により懇談、区内散策、料理教室、七夕、等を実施しています。

実施日：4月16日、5月14日、6月11日、7月7日、8月20日、9月10日、10月22日、12月17日、23年1月21日、2月18日、3月9日

場　所：協会講習室　等

INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

In this salon, both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free and open communication with each other. For the people who want to make a lot of friends and who want to enjoy conversation in Japanese and experience of Japanese culture, various events such as Tanabata, cooking, excursion, etc. are scheduled to take place. Why don't you come and join us?

Date: Apr. 16, May 14, Jun. 11, Jul. 7, Aug. 20, Sep. 10, Oct. 22, Dec. 17, Jan. 21, 2012, Feb. 18, 2012, and Mar. 9, 2012.

Time: Basically 13:30 p.m.~15:30p.m. (varies depending on the events)

Place: Lecture Room of CCIEA Office

Fee: Free

For more information, contact CCIEA.



平成 22 年 7 月七夕

（6）外国客船歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船の入港時の歓迎行事に参加し、記念品の贈呈を行っています。

（7）国際交流推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となって行う国際交流推進事業の後援及び事業の実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：４件

助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

（8）日本語指導者養成講座

区内在住・在勤の外国人に対し日本語を教えるボランティアを養成するために開催します。

日　時：7 月 5 日、9 日、12 日、16 日、19 日、23 日、26 日　計 7 日間

火曜日は、午後 6 時 45 分～午後 8 時 45 分まで

土曜日は、午前 10 時～午後 3 時まで（途中休憩 1 時間）　計 20 時間

場　所：協会講習室または新富区民館

講　師：明海大学外国語学部　講師　西川　寛之

定　員：30 名

（9）日本語フォローアップ講座

外国人に日本語を教えるボランティアの指導力を高めるため、フォローアップ講座及びステップアップ講座を開催します。

・フォローアップ講座（全 12 回）

開催日：7 月 28 日、8 月 2 日、9 月 6 日、13 日、10 月 4 日、18 日、11 月8日、12 月 5 日、1 月 24 日、2 月 21 日、3 月 6 日、13 日

・ステップアップ講座（全 7 回）

開催日：6 月 29 日、 8 月 27 日、 9 月 28 日、10 月 15 日、11 月 30 日、1月 28 日、2月 29 日

（10）協会創立 20 周年記念行事

協会創立 20 周年を迎えるにあたり記念行事を行う。

・協会ボランティアとして貢献している人（10 年以上の実績）に対し、感謝状及び記念品の贈呈を行う。

・記念講演会の実施

時　期：平成 23 年 12 月（予定）

（11）姉妹都市提携 20 周年記念行事

サザランド市と姉妹都市提携 20 周年を記念し、「オーストラリア・サザランド市紹介の夕べ」を開催する。

・サザランド市中学生の区訪問時期に合わせ、区民と交流できる講演会、懇談会を開催する。

時　期：平成 23 年 9 月（予定）

平成 23 年度予算

＜収入＞

科　目	予算額（円）	説　明
事業収入	1,204,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	92,672,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	30,000	預金利子
収入合計	93,907,000	

＜支出＞

科　目	予算額（円）	説　明
事業費	52,543,000	
文化振興費	44,286,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	8,257,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	39,364,000	
人件費	35,200,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	4,164,000	理事会、事務費等
予備費	2,000,000	
支出合計	93,907,000	

シリーズで、文化振興・国際交流の推進に活躍している方や団体をご紹介します。



築地居留地研究会

NPO法人

築地居留地は近代文化発祥の地。過去の歴史を発掘して未来の日本につなげていきたい



ガス灯を点灯するための街灯柱





●プロフィール
平成20年5月12日、NPO法人として設立。毎月第4土曜日、明石町のコーヒーラウンジ「アラジン」でランチョンミーティング、地域集会室で研究会を開催。5月31日に行われた「築地あじさい祭り」シンポジウムでは、シーボルトの娘・イネをテーマに講演も。http://www.geocities.jp/npohealthcare/tsukiji.html



明治元年、現在の明石町地域に設立された「築地居留地」。当時の生活や文化を研究することで、中央区の歴史、文化を再発見し、まちづくりにも活かそうと活動しているNPO法人「築地居留地研究会」本部事務局の石山稔さんにお話を伺いました。

研究会が設立されたのはいつ頃のことですか？

石山　昭和53年頃、現在、研究会の理事長を務めておられる清水正雄さんが区民館の資料室で始められたのが最初です。清水さんは当時、明石町町会の副会長をされていました。郷土に対する愛着が深く、居留地という文化を後生にずっと残していこうという強い思いがあったようです。平成2年には正式に「築地居留地研究会」として活動を開始。数多くの研究により、貴重な歴史を研究・発表してきました。清水さんの引退後も、その思いを継承し、区内にとどまらず、多くの方に築地居留地の存在を伝えていこうと、平成20年にNPO法人として再組織したんです。

築地居留地のはじまりは？

石山　安政5年（1858年）、米国総事ハリスをはじめ、米、蘭、露、英、仏の5カ国と江戸幕府との間に結ばれた修好通商条約によって、日本の7箇所、函館、新潟、江戸、横浜、大阪、神戸、長崎に外国人居留地を設置することが決まりました。江戸築地居留地の設定は明治元年。明治新政府の手によって開設されました。

現在もその名残は見られますか。

石山　残念ながら当時の状態で残っているものは、カトリック築地教会の鐘と聖路加病院の敷地内にあるアメリカ公使館跡の石標くらいです。関東大震災以降に建て直しされましたが、聖路加病院のチャペルは今も居留地の異国情緒を漂わせている建物です。

築地居留地を研究する意義は？

石山　横浜や神戸など他の外国人居住地とは違い、築地居留地の特徴は商業目的ではなく、学校や病院、教会など、文化的建物が中心だったこと。つまり、江戸の近代文化発祥の地だったわけです。過去の歴史を探ることで、中央区はもちろん、これからの日本文化のさらなる発展や外交のヒントになることが多く得られると思っています。

中央区 まるごとミュージアム

日時 平成23年10月30日（日）
概ね9：00~17：00

主催 中央区、中央区文化・国際交流振興協会

会場 中央区全域

中央区のさまざまな文化的な魅力を体験していただける、第4回「中央区まるごとミュージアム」を開催します。

本年も、名所･旧跡を巡るまち歩きや美術館･画廊での美術鑑賞、文化団体等による作品展など各種のイベントが行われますので、ぜひ、区民の皆様を始め大勢の方々に文化芸術の秋、中央区の文化的な魅力をお楽しみください。

ここでは、昨年実施された文化事業をご紹介いたします。


●まち歩き（4コース）


●銀座将棋まつり


●ブリヂストン美術館


●星空のコンサート


●人力車体験


●銀茶会


●大江戸活粋パレード


●凧の博物館


●薬研堀講談の会


●アフタヌーン・ギャラリーズ by 画廊の夜会


●「新富座こども歌舞伎」公開通し稽古


●ヘブンアーティスト in まるごと

●美術展鑑賞会（ブリヂストン美術館・三井記念美術館）
●銀座あおぞら DE アート
●銀座シャンソンうた祭
●銀座アンティークまつり
●銀座スペース・デザイン・学生コンペティション受賞作品展示
●ギンザ・インターナショナル・ジャズ・フェスティバル 2010
●つきじＴＡＳＳぎゃらりー若松屋２人展「sorairo」空色～ｲﾂｶﾉﾕﾒﾉｱﾄ～
●郷土天文館特別展「東京にあった外国人居留地」
●中央区区民文化祭作品展
●バリアレス・ハートギャラリー
●朝日新聞社「地球環境を考える写真展と記者による南極講演」
●読売新聞社「箱根駅伝特別展」
●日本銀行「にちぎん体験 2010」
●粋だね市
●TOKYO KIMONO WEEK 2010 ～きもの・和・日本橋～
●日本橋美人博覧会
●晴海インフィオラータ 2010 in Triton
●第 16 回中央区産業文化展（へそ展）
●絵本で楽しむ展覧会“アジア、アフリカから聞こえてくるよ”

なお、台風の影響により「銀座あおぞら DE アート」は中止、「晴海インフィオラータ 2010 in Triton」は日程を短縮して実施しました。

表紙 米屋・酒屋（日本橋人形町）　小川幸治

出し桁（だしけた）造りの瓦屋根は商店に多い建物で、米・酒など保存の為、店内の温度が高くならないように工夫されている。
「うちも描いてほしかったヮ」。写生をしていると突然声をかけられた。「戦争で焼けちゃったのョ」下町は戦火にあい、この様な家並みが残るのはめずらしいが、今は米屋は代替わりしてレストランになっている。

特集記事は「日本舞踊の魅力について考える」です。昨年度の文化講座は中央区古典芸能の会の協力により、体験ワークショップ「古典芸能のたのしみ」について行いましたので、関連して特集いたします。「ひと　粋・活き」では、NPO法人築地居留地研究会の活動についてお話をお聞きしました。
「中央区まるごとミュージアム2011」は第4回目になります、本年もたくさんの方々の参加をお待ちしております。

役員名簿（平成23年7月1日）

理事長	古屋　勝彦	東京商工会議所中央支部顧問
副理事長	小泉　典久	中央区副区長
理　事	細田安兵衛	中央区観光協会副会長
〃	重盛　永造	中央区商店街連合会会長
〃	水野　雅生	中央区工業団体連合会会長
〃	三田　芳裕	元中央区文化振興懇談会副座長
〃	小川　文男	東京日本橋東ロータリークラブ会長
〃	小林　淑郎	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	山田　光男	京橋地域町会連合会会長
〃	柴田　　亨	日本橋地域町会連合会会長
〃	柴崎　仁久	月島地域町会連合会会長
〃	小畑　栄三	中央区文化連盟会長
〃	百瀬　修至	中央区体育協会理事長
〃	藤枝　精也	中央区PTA連合会会長
〃	重松　良克	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	斉藤　　進	中央区教育長
〃	斎藤　裕文	中央区企画部長
〃	齋藤　　弘	中央区区民部長
監　事	則武　久子	中央区女性海外研修者の会元会長
〃	田野　則雄	中央区会計管理者

発行／中央区文化・国際交流振興協会　〒104-0041 東京都中央区新富1-13-24 新富分庁舎3F　TEL 03-3297-0251 FAX 03-3297-0253 URL: http://www.chuo-ci.jp/